

伝えたい理由がここにある!

地域文化と未来を創造する羅針盤 阿波学会が伝える60年目の見聞録

地層を見れば、地球の動きが見えてくる。
指差す先にはワクワクするような歴史ロマンが広がる。
幅広い知識と高度な専門性に裏打ちされた見聞録は
今や、地域の文化と未来を創造する羅針盤となっている。
半世紀以上かけて阿波の歴史や文化を調査研究してきた阿波学会が
次なるステージへの再出発地として選んだのが阿南市。
60年目の調査から見えてきたものとは。



阿波学会研究紀要

総合学術調査の成果をまとめた報告書。過去の調査において、阿南市は12号 (S41)、旧羽ノ浦町は31号 (S60)、旧那賀川町は41号 (H7) に編集されています。

総合学術調査は、次の3つの分野で行われています。

自然科学の分野では、地質、植性・植物相、野鳥、昆虫類・貝類等の生態系の特徴を説明するとともに、河川水質や災害地調査等により、徳島県全体の自然環境の把握に努めます。

医科学系の分野では、地域住民の検診や栄養調査などを通じて生活習慣病の実態を解明するとともに、民間業・生薬調査等で地域資源とその活用法を見いだします。

人文学系の分野では、地域における歴史資料・絵図・考古遺物等の調査・解析、民家・社寺建築に関する悉皆調査、民俗・食文化・祭礼・言語などの地域文化に関する調査を行います。

ほかにも、南海トラフ巨大地震や中山間地域、医療福祉問題などにも積極的に取り組んでいます。

阿波学会は、昭和29年12月に発足した全国唯一の学術団体です。県内の各学会等に所属する大学教授や学芸員、学校教員など約1000人が在籍し、18の調査班を編成して、人文科学・自然科学、医科学の分野で学術調査を行っています。半世紀以上にわたり積み重ねられてきた高度な見識と飽くなき探求心によって、地域性や社会性の特徴が明らかにされてきました。地域に根差した調査研究の成果は、自治体ごとに「阿波学会研究紀要」に編さんされ、地元はもとより、国や県の地域文化政策、観光政策などで幅広く活用されています。この比類なき取組と成果は、関係機関から高く評価されています。

県内(旧50市町村)における総合学術調査は、平成24年7月の東みよし町の調査報告をもって一巡し、平成25年からは、平成合併後の24市町村を対象にした調査がスタート。その最初の調査地として阿南市が選ばれました。

全国唯一の学術団体

阿波学会

10:45～



伊島の地質

伊島の周囲に露出する地層を調査。伊島の地層は付加体とよばれる堆積物からなり、地質構造が複雑です。今回は、伊島を構成する付加体とよばれる地層について紹介します。

地質班 辻野泰之 (37歳・徳島市)
徳島県立博物館学芸員

11:15～



阿南市に生息するクモ類

一般的に嫌われもののクモですが、その形態や生き様は極めて神秘的で興味深い生き物です。阿南市で発見されて新種として記載された種もあり、この地域に生息するクモ類およびザトウムシ類について調査しました。

クモ類・貝類班 坂東治男 (65歳・阿波市) 元教員

講師紹介 & 日程

10:30～ 開会
10:45～ 【1部】発表・質疑
12:15～ 休憩
13:15～ 【2部】発表・質疑
15:40～ 全体質疑
16:00 閉会

※都合により日程を変更する場合があります。

方言

のルーツは



牛岐の城下町

野鳥

の代表格は



原始的な生活を営むカワセミ

地層

が露出する



伊島の海岸線

板碑

とよめは



福井小谷の弥勒像

11:45～



野鳥観察地の風景と野生哺乳類

野鳥観察で訪れた各地で撮影した写真を用い、山地、河川、溜池、海岸、農地などを紹介します。野生哺乳類は、市西部山地で普通に観察されたニホンジカを含む11種を確認しています。

鳥類班 東條秀徳 (59歳・徳島市)
(公財) 日本野鳥の会会員・新野町出身

13:15～



阿南市の民家

阿南市の伝統的民家といえる茅葺き民家に焦点を当て、どのくらいの数の茅葺き民家が残存しているのか、構法や間取りなど、ほかの地域と比較してどのような特徴を持っているのかを明らかにします。

民家班 高田哲生 (50歳・徳島市)
社徳島県建築士会・阿波のまちなみ研究会所属

13:45～



阿南の板碑

阿南市には45基の板碑の造立が知られています。なかでも、阿南市富岡町の浄土寺にある阿弥陀一尊板碑は、嘉暦3(1328)年の紀年銘があり、異形梵字として注目されている板碑です。この異形梵字を中心に発表します。

考古班 岡山真知子 (徳島市)
徳島文理高等学校教諭

14:15～



阿南市の庚申信仰

庶民の信仰を知るために、その一つである庚申信仰について以下の点から調査し、阿南市の庚申信仰の実態と特色を明らかにします。①信仰の内容と方法(庚申講等)②人工物(庚申塔等)③以前との比較④他地域との比較

民俗班 天羽祥仁 (51歳・阿南市)
徳島民俗学会・日本石仏協会所属

14:45～



阿南市の方言

見能林地区と加茂谷地区で行った方言調査の結果を報告します。会話の例を挙げながら、阿南市方言の特徴や自然談話からみた言語的特徴を紹介します。

方言班 岸江信介 (60歳・徳島市)
徳島大学教授

15:15～



那賀郡の古地図と景観

阿南市教育委員会が所蔵する文化3年(1816)那賀郡分間郡図や文化11年南島村分間絵図、同12年岡村分間と答島村塩田絵図から当時の景観と生活空間を復元します。

地理班 羽山久男 (73歳・徳島市)
前徳島地理学会会長

阿南市における総合学術調査は、平成25年4月から2カ年にわたり14分野で行われており、今回はその中間報告として開催されます。阿南市にあつては、昭和41年以来、およそ半世紀ぶりの調査となり、昭和60年の旧羽ノ浦町、平成7年の旧那賀川町の調査結果を踏まえた調査研究の成果が発表されます。

幅広い知識と高度な専門性に裏打ちされた阿波学会の見聞録を、どうぞお楽しみください。

平成25年度総合学術調査参加班と調査テーマ

班名	調査テーマ
1 地質班	阿南市の地質と地形
2 水質班	阿南市を流れる河川の水質
3 植物相班	阿南市の植物
4 鳥類班	阿南市の野鳥生息状況
5 昆虫班	阿南市の甲虫・阿南市のトンボ
6 クモ類・貝類班	阿南市でのクモ類・ザトウムシ類の生息状況
7 民間調査班	阿南市における民間調査
8 民家班	阿南市の民家
9 社寺建築班	阿南市の社寺建築
10 考古班	阿南市の板碑
11 地方史班	阿南市における文書調査
12 民俗班	阿南市の祭礼と祭り囃子、遠洋漁業、人生儀礼と食について
13 方言班	阿南市方言(実態と変化)
14 地理班	①阿南市地域の近世絵図と明治前期地籍図(公図)の調査 ②古代阿南市域の条理と古代道路復元調査 ③阿南市の地域性

阿波学会事務局(県立図書館内 ☎088-668-3500) または文化振興課(☎22-1798)へ

阿波学会総合学術調査中間発表会

「発見! 阿南の自然と文化」



入場無料

4/27(日)

10:30~16:00
夢ホール